

2026(令和8)年4月28日

～えきから始まるまちづくり～
**枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業および駅周辺まちづくりの
取り組みが日本都市計画学会の2025年度「計画設計賞」を受賞**

京阪ホールディングス株式会社（本社：大阪市中央区、社長：平川良浩）が参画する枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業および駅周辺まちづくりの取り組みが、公益社団法人日本都市計画学会の2025年度学会賞「計画設計賞」を受賞しました。

「計画設計賞」は、都市計画に関する計画、設計、事業などに関する近年の作品で、都市計画の進歩、発展に顕著な貢献をしたものを対象として授与される賞です。

枚方市駅周辺では、市街地再開発事業を中心に共創による持続可能なまちづくりを展開してきました。受賞にあたっては、多様なステークホルダーが共創して事業を展開してきたことや、デザイン監修チームによるトータルデザイン、エリアマネジメントの取り組み等、今日的な価値観をちりばめた秀逸なまちづくり事例であること、都市計画法、都市再開発法などを横断したユニークな事業スキームやマルチスケールなデザインガイドラインが今後の郊外駅前を中心としたまちづくりに大いに参考になる事例であることが評価されました。

一連の取り組みの中で、京阪グループは「『まちを育てるまちづくり』を駅から始めます」と宣言し、市街地再開発事業を事業協力者として推進するとともに、エリアマネジメントによるエリア価値の向上を目指して、枚方HUB協議会の創設にも携わってきました。

今回の受賞を機に、枚方市駅周辺においてまちの魅力と価値を高める「えきから始まるまちづくり」を推進し、持続可能なまちづくりを行うとともに、沿線の各地域でも地域に寄り添ったまちづくりを展開して沿線全体の魅力向上を目指してまいります。

詳細は別紙の通りです。



都市計画学会 2025 年度学会賞「計画設計賞」受賞概要

【対象事業】

枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業および枚方市駅周辺まちづくりの一連の取り組み

【受賞者】

枚方市駅周辺地区市街地再開発組合(一般業務代行者：株式会社アール・アイ・エー)

京阪ホールディングス株式会社

株式会社大林組

枚方 HUB 協議会(枚方 LOOP 実行委員会)

デザイン監修チーム(嘉名光市、日建設計、GK 京都・GK 設計)

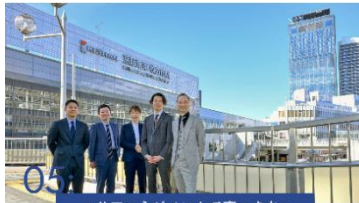
【受賞理由】

本事業は大阪府枚方市の枚方市駅周辺において、多機能・複合的な都市基盤整備、歩行者回遊性の向上、広場空間の創出などによって、エリア価値向上につながる面的整備が図られた事業である。地権者や再開発組合だけでなく、鉄道会社、市役所、地域住民など多様なステークホルダーがそれぞれの立場で「共創」して事業を展開してきた。デザイン監修チームによるトータルデザイン、エリアマネジメントを担う準備組織の立ち上げなど、今日的な価値観をちりばめた秀逸なまちづくり事例である。駅周辺の人流の増加、賃貸レジデンス入居率、周辺の人流増加など、地域の活性化に寄与したことはデータでも裏付けられている。都市計画法、都市再開発法などを横断したユニークな事業スキームや、マルチスケールなデザインガイドラインは、今後の郊外駅前を中心としたまちづくりに大いに参考になると考えられることから、日本都市計画学会計画設計賞に相応しいと判断した。

【参考】えきから始まるまちづくり「枚方市駅周辺再開発」HP

枚方市駅周辺再開発を複数の切り口から様々な立場の関係者と振り返るインタビュー記事や再開発事業の経緯や年表などを掲載しております。

(<https://www.keihan.co.jp/corporate/business/hirakatashi/>)



以 上